

平成25年度一般会計決算概要

356億1,694万3千円 の使いみち

平成25年度一般会計の歳入の決算額は、370億3,517万1千円で、24年度比7億9,695万円（2.2%）の増となりました。この主な要因は、個人市民税やたばこ税、国庫支出金などが増加したことによります。

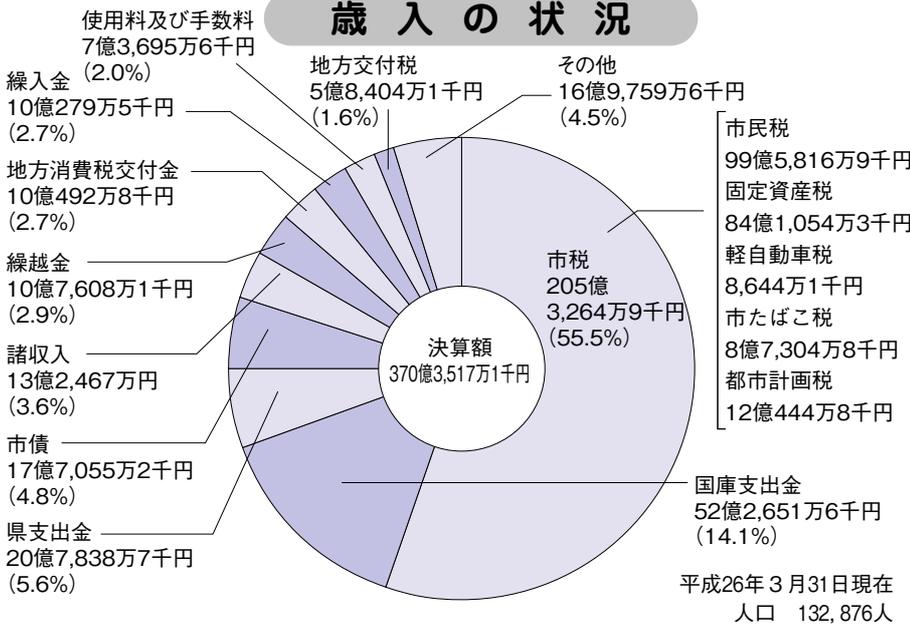
歳出の決算額は、356億1,694万3千円で、24年度比4億5,480万3千円（1.3%）の増となりました。この主な要因は、民間社会福祉施設への保育委託料や国民健康保険特別会計繰出金の増加などによります。

問／財政課 ☎463-3179



朝霞駅前出張所パスポートコーナー

歳入の状況



歳入の主な状況

市税の決算額は、205億3千264万9千円で、24年度に比べ2億2千634万7千円（1.1%）の増となりました。これは、景気回復等により個人市民税が増加したことなどによります。

固定資産税 84億1,054万3千円
軽自動車税 8,644万1千円
市たばこ税 8億7,304万8千円
都市計画税 12億444万8千円

国庫支出金の決算額は、52億2千651万6千円で、24年度に比べ7千838万7千円、24年度に

市民1人当たりの市税負担額					154,525円
市民税	固定資産税	軽自動車税	市たばこ税	都市計画税	
74,943円	63,296円	651円	6,570円	9,065円	

歳出の主な状況

民生費の決算額は、168億8千239万9千円で、24年度に比べ8億1千234万4千円（5.1%）の増となりました。これは、国民健康保険特別会計繰出金が増加したことなどによります。

繰越金の決算額は、10億7千608万1千円で、24年度に比べ4千280万2千円（3.8%）の減となりました。

諸収入の決算額は、13億2千467万円で、24年度に比べ1億4千732万円（12.5%）の増となりました。

市債の決算額は、17億7千055万2千円で、24年度に比べ55万2千円で、24年度に比べ3億4千363万2千円（16.3%）の減となりました。これは、駅東通線用地購入事業債が減少したことなどによります。

保育所緊急整備事業補助金が減少了ことなどによります。

比べ6千154万1千円（2.9%）の減となりました。これは、保育所緊急整備事業補助金が減少したことなどによります。

総務費の決算額は、42億9千163万5千円で、24年度に比べ3億7千141万4千円（9.5%）の増となりました。これは、

歳出のうち、第4次総合振興計画基本構想にかかわる主なもの (1万円未満切り捨て)

市民の命と暮らしを守る …子どもからお年寄りまで 安心安全なまち

- 公共施設に公衆無線LANを設置 188万円
- 家具転倒防止器具設置補助 (対象：障害者世帯、高齢者世帯) 3万円
- 道路安心・安全緊急改良工事 289万円



公衆無線LAN設置



子どもたちの健やかな成長 …子育ての喜びを感じるまち

- 障害児放課後児童クラブの設置 1,471万円
- 社会福祉法人が新設する保育園2園の整備費補助 2億4,465万円
- こども医療費無料化の拡大 (通院：中学3年生まで、入院：高校3年生まで無料) 5億1,245万円
- 栄町学校給食センター老朽化診断 291万円



朝志ヶ丘障害児放課後児童クラブ

未来の朝霞へつなげる …市民みんなの笑顔でつくるまち

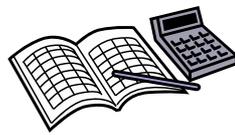
- パスポート申請・交付窓口の設置 3,687万円
- 太陽光発電普及推進事業 2,000万円
- 朝霞ブランド事業 20万円
- シティ・セールスイベント事業 33万円
- 朝霞駅南口駅前通りのアメニティーロード化 756万円



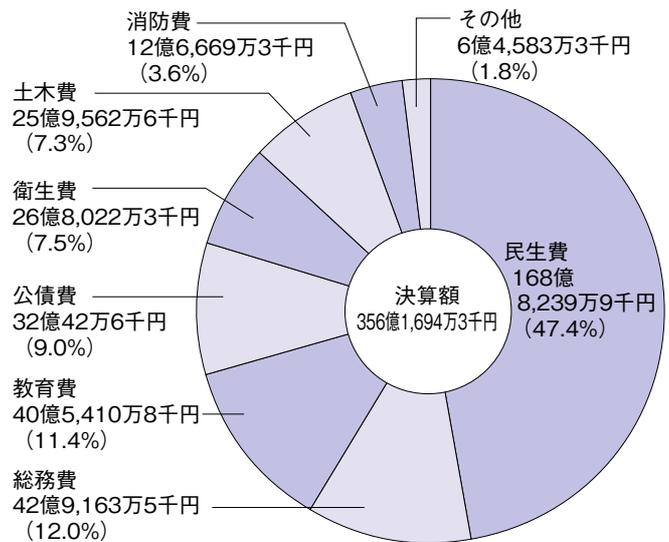
シティ・セールス朝霞ブランド
「本田美奈子・モニュメント」

財政調整基金への積立金が増加したことなどにより、教育費の決算額は、40億5千410万8千円で、24年度に比べ2千587万2千円(0.6%)の減となりました。これは、第5小学校改築事業に係る工費が減少したことなどにより、公債費の決算額は、32億42万6千円で、24年度に比べ4千470万6千円(1.4%)の増となりました。

衛生費の決算額は、26億8千223万3千円で、24年度に比べ2億2千7万円(7.6%)の減となりました。これは、ごみ焼却処理施設補修工費が減少したことなどにより、土木費の決算額は、25億9千562万6千円で、24年度に比べ5億5千155万2千円(17.5%)の減となりました。これは、駅東通線街路用地購入費が減少したことなどにより、



歳出の状況



市民1人当たりに使われたお金								268,046円
民生費	教育費	総務費	公債費	土木費	衛生費	消防費	その他	
127,054円	30,510円	32,298円	24,086円	19,534円	20,171円	9,533円	4,860円	

特別会計決算額

会計名	歳入決算額	対前年比 (%)	歳出決算額	対前年比 (%)
国民健康保険	123億7,576万4千円	101.5	120億6,390万9千円	101.3
下水道事業	18億1,648万1千円	120.3	16億7,155万7千円	118.8
介護保険	53億4,827万7千円	105.2	52億2,245万7千円	106.9
後期高齢者医療	9億8,028万9千円	104.6	9億7,172万7千円	104.3

※パーセント表記のものについては、小数点以下第2位を四捨五入しています。

市民サービスの経費はどれくらい？ いくつか例を挙げてみました

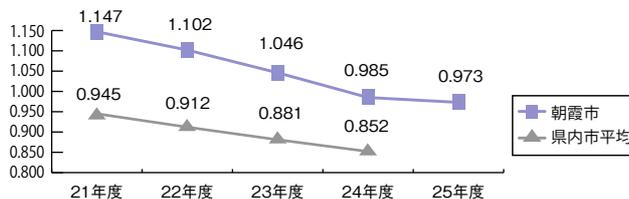
 <p>小学生 1人当たり1年間 8万6,281円</p> <p>小学校費（学校建設費を除く）の決算額（6億1,457万9千円）を学校基本調査人数（7,123人）で割りました。</p>	 <p>中学生 1人当たり1年間 11万6,977円</p> <p>中学校費の決算額（3億9,573万4千円）を学校基本調査人数（3,383人）で割りました。</p>	 <p>児童生徒の学校給食 1人当たり1年間 9万7,196円</p> <p>学校給食費の決算額（10億2,114万1千円）を学校給食基本調査人数（10,506人）で割りました。</p>
 <p>図書館の図書購入 1人当たり1年間 226円</p> <p>図書館図書購入の決算額（3,000万3千円）を人口（13万2,876人）で割りました。</p>	 <p>公債費 1人当たり 2万7,421円</p> <p>公債費（水道事業以外の特別会計を含む）の決算額（36億4,355万4千円）を人口（13万2,876人）で割りました。 ※公債費とは、借入金の返済経費をいいます。</p>	 <p>ごみ処理 1人当たり 1万620円</p> <p>清掃費（し尿処理経費除く）の決算額（14億1,116万9千円）を人口（13万2,876人）で割りました。</p>
 <p>道路改良 1メートル当たり 4万4,787円</p> <p>道路改良の経費（189万円）を整備延長（42.2m）で割りました。</p>	 <p>歩道整備 1メートル当たり 5万2,243円</p> <p>歩道整備の経費（957万1千円）を整備延長（183.2m）で割りました。</p>	 <p>放置自転車撤去 1台当たり 2万61円</p> <p>放置自転車撤去費用（3,189万7千円）を年間撤去台数（1,590台）で割りました。</p>

※上記の各項目の積算にあたっては、歳入は考慮していません。

<平成25年度 決算に基づく指標>

財政力指数

0.973

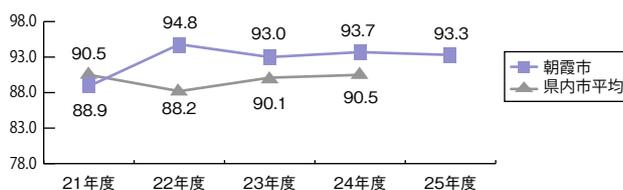


財政力指数は、標準的な行政活動を行うのにどれだけ自力で財源を調達できるかを表した指標です。

〔参考〕平成24年度は、財政力指数の高い順（良い方）からみて、朝霞市は県内40市中3番目でした。

経常収支比率

93.3%



経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断するための比率で、人件費や扶助費（社会福祉のために支出されるお金）などの経常的な経費に、地方税などの経常的一般財源がどの程度充当されているかをみる指標です。

〔参考〕平成24年度は、経常収支比率の低い順（良い方）からみて、朝霞市は県内40市中38番目でした。

健全化判断比率

実質赤字比率 「 - 」 (12.28%)

実質赤字比率は、一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模（一般財源の標準規模）に対する比率です。

連結実質赤字比率 「 - 」 (17.28%)

連結実質赤字比率は、全会計を対象とした実質赤字額（または資金不足額）の標準財政規模に対する比率です。

実質公債費比率 4.0% (25.0%)

実質公債費比率は、一般会計等が負担する地方債の償還金等の標準財政規模に対する比率です。

将来負担比率 46.8% (350.0%)

将来負担比率は、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。

健全化判断比率とは、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方財政の早期の健全化を図るために定められた新たな指標です。

〔参考〕（ ）内の数値は朝霞市の早期健全化基準を表しています。また、実質赤字比率、連結実質赤字比率については、赤字額がないため「-」と表記しています。